# 県産材の安定供給を

## 瀧氏をグリーンマスター認定

### 豊かな森林と山村を創る県大会

県森林組合連合会及び県治山林道協会、県木材協同組合連合会、県森林土木協会など25団体の主催で、第1回豊かな森林(もり)と山村(むら)を創る鹿児島県大会(加治屋義人会長)が6日、姶良郡溝辺町のグリーン文化ホールみそめ館で開かれ、約900人が参加して今後さらに森林の適正管理と県産材等林産物の安定供給に努力することを改めて誓い合った。

冒頭、物故者への黙とうの後、加治屋会長が「森林の果たす水資源かん養や国土保全、地球温暖化防止等幅広い役割が重要視され、森林の健全な整備が求められてきている。われわれは今後も森林を守り、後世に引き継ぎ、県産材を安定的に供給していくことに全力を注いでいく」と挨拶。

次いで、来賓を代表して小里貞利衆議が「森林が果たす社会的、国家的役割はますます高まっている」などと祝辞を寄せた。常田享詳農林水産副大臣が島村宣伸大臣のメッセージを読み上げ、伊藤祐一郎県知事、川原秀男県議会議長、有村久行溝辺町長、飯塚昌男全国森林組合連合会代表理事会長も「皆さんの力強いまなざしに感銘を受けた。緑の県土づくりに全力で取り組みたい」などと、それぞれの立場から祝福の言葉を述べた。

指導林家・青年林業士・グリーンマスター認定証授与では、グリーンマスターに認定された瀧源廣㈱瀧緑地建設社長ら9人が壇上に上り、拍手の中、加治屋会長から認定証を受けとった。

森義夫県猟友会長を議長に、柴立鉄彦県山林種苗協同組合会長を副議長に指名して始まった議案審議では、山野隆実行委員長が大会の取り組み方針や具体的課題等の議案を説明、森林組合代表の大川原主税財部町議、森田俊彦ベネフィット森林資源協同組合代表理事、伊佐愛林㈲専務の今吉光一大口市議、指導林家の川畑征治福山町議が意見表明を行った。

最後に青年林業士の森山リミさんと大竹野一志さんが力強く大会決議及び大会宣言し、大会を終えた。

なお、当日は黒木幾雄林野庁次長が「地球温暖化問題と日本の森林・林業」と題して記念講演も行い、参加者は充実した1日を過ごした。

森林の適正管理に気持ちを新たにする参加者ら(上)と認定を受ける瀧社長(右端)＝溝辺町のグリーン文化ホールみそめ館で

## 県政刷新大綱提言書提出

### 毎年度の予算に反映へ

県政刷新大綱策定委員会(会長・宮廻甫允鹿児島大学法文学部教授)は7日、鹿児島市の県庁知事室を訪れ、委員会で審議した県政刷新大綱に関する提言を伊藤祐一郎県知事に手渡した。

県政刷新大綱の審議の報告に加え、説明。「問題が問題だけに意見を集約することに苦慮したが、委員の方々の関心も高く、幅広い提言がまとまったものと思う。これに基づき、県民の夢を次代につなぐ県政を目指してほしい」と挨拶した。これを受け伊藤県知事は「中身については非常に厳しい内容になっていると受け止めている。県民へのサービス提言を含め、提言を取り入れ、できるだけこの提言に従い、毎年度の予算に反映していきたい」と挨拶した。

このほか、国分市に建設が予定されている特養老人ホームの建設地区に決まったことについて質問され、知事は「近く鶴丸国分市長から報告があると思うが市長の意向を十分聞いて対応したい」と答分市の川内

宮廻会長から提言書を受ける伊藤県知事(右)＝鹿児島市の県庁で

## 二級建築士免許証交付式

### 技術研さんで一層活躍を

16年二級建築士免許証交付式が7日、鹿児島市の市民文化ホールで開かれ、県に申請を行った107人のうち77人の出席者に免許証が授与された。また、名瀬会場でも授与式が行われ、5人の合格者が免許証の交付を受けた。今回の本県合格者は118人(うち、女性21人)で合格率は28%。

冒頭、県土木部建築課の山下孝志建築技監兼建築課長が「今後は建築士として、時代の流れに適切に対応し技術の研さんに努め、さらなる活躍を期待します」などと祝辞を述べた。次いで交付式に移り、合格者の名前が読み上げられると次々に壇上へ上がり、山下建築技監から免許証が手渡された。

交付式に臨む合格者ら＝鹿児島市の市民文化ホールで

課技術主幹兼計画指導係長が建築士法等についての講習会を行い、建築士の業務や業務上必要な知識及び技能の維持・向上に努めなければならないことなどを説明した。

交付式終了後には、県建築士会(川上道夫会長)の説明会が行われ、川上会長の挨拶の後、米盛司郎青年部会長(日研高圧平和キドウ㈱)、井之上由美子女性部副部会長(有)ゆうあいプラン)が建築士会の組織や活動内容などについて解説。また、鹿屋・肝属支部女性部会の鈴木敦子さん(オーエイトプラン)が「建築士会の魅力」について説明した。

## 種子島地区安全運転管理協 事業主研修会

### 安全指導の徹底促す

種子島地区安全運転管理協議会(会長・姫内次由姫内建設㈱社長)は4日、熊毛郡南種子町の大和温泉ホテルで事業主研修会を開いた。建設業の事業主ら関係者約90人が参加した。

車両事故の防止対策等について学んだ研修会＝南種子町の大和温泉ホテルで

防止対策等について理解を深めた。

同協議会は、1事業所当たり5台以上の自動車を保有する企業等で構成。業務時における車両の安全管理体制を促し、地域社会への交通安全の寄与を目的に活動する。

当日は、姫内会長が「〝安全なくして繁栄なし〟をスローガンに、今後も安全運転に心掛けてほしい。ダンプ利用者については過積載にも注意を」などと挨拶。永田喜文種子島警察署長も、若年者による交通事故発生件数の増加を踏まえ安全指導の徹底を促した。

また、県トラック協会ISO研究会長を務める古市賢一郎氏(古市ISO・企画代表)が「ISOと安全管理」と題して講演を行った。古市氏は、「整理・整頓・清掃・清潔・しつけの〝5S活動〟を全員参加で実施し、継続的改善を図っていくことが大切」とし、「何事もうまくなるには、近道はない!定められた仕事内容に抵抗せず、繰り返して身につけていくことが重要」などと話した。

## 県100人委員会

### 18日に県土づくり分科会

県は18日午後1時から、鹿児島市の県庁で県100人委員会第4分科会(県土づくり分科会)を開く。内容は、交通ネットワークの整備などである。

## 休日はキャンプ巡り

### 園田　美知子さん

昨年9月、鹿児島に南九州営業所(渡辺多佳史所長)が設立されたのと同時に入社しました。主に情報表示システムや照明・制御機器、配線保護機材など製品に対する説明や紹介、注文管理などを担当しています。

会社の顔として、特に電話の応対には注意を払っています。また、仕事で分からない時など本社や福岡の先輩方が優しくアドバイスしてくれます。

休日には、ドライブを兼ねた野球のキャンプ地巡りにはまっています。特に開幕前のジャイアンツキャンプには、宮崎まで幾度となく足を運びます。

また、週2回ほど通っているカラオケやオンラインゲームに最近はまっています。今のところ仕事と趣味の両立がうまくいっていることから、毎日が充実していて楽しいです。

(星和電機㈱)